

# 南方録と茶の心

立花実山三百回忌記念展  
「千利休秘伝書」



立花実山筆「南方録」 圓覚寺

いふ世何をもえよるけうり  
従ふけい好是是の二五力  
身遠室剣祖佛共教  
人生七十力口希咄  
天正十九年二月廿八日祥世

特賜立花利休宗易肖像并祥世之欲歎以自家茶書  
寫之贈ハ原氏不億信士  
元禄辛巳二月廿八日實山香拜



立花実山筆 千利休像 東林寺

## 8月28日[火]—10月21日[日]

- 会場/福岡市美術館 古美術企画展示室
- 休館日/月曜休館(ただし9月17日・24日、10月8日は開館、9月18日・25日、10月9日は休館)
- 開館時間/9時30分—17時30分(入館は17時まで) 8月は9時30分—19時30分(入館は19時まで)
- 主催/福岡市美術館 ■協賛/東林寺 ■協力/圓覚寺、櫛田神社、茶道南坊流南坊会
- 後援/福岡茶道文化連盟、(財)福岡観光コンベンションビューロー、RKB毎日放送、西日本新聞社

福岡市美術館

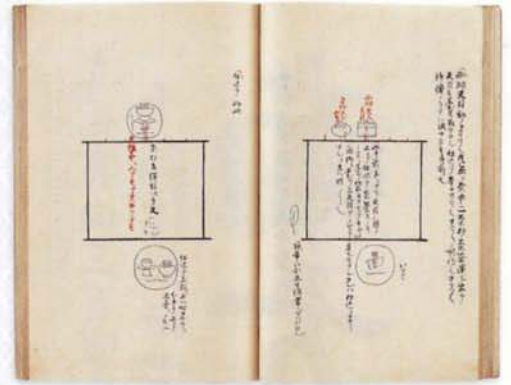
# 立花実山三百回忌記念展

## 南方録と茶の心

「南方録」は豊臣秀吉の茶匠として茶道を大成した千利休の茶法をその弟子南坊宗啓がまとめたもので、茶書の中でもひじょうに重要な書です。これを千利休が亡くなって、百年ほど経て、福岡藩の藩士立花実山がその存在を知り、写した本によって今日に伝わっています。長く秘伝の書でしたが、今回、実山の写本、弟寧拙の写本の両本を一堂に公開します。

立花実山は、「南方録」を発見したように茶道に関心が深く、そのほかにも詩、和歌、書画、学問にもすぐれ、作品がこさえます。また、加賀(石川県)大乘寺の禅僧出山道白(まんざんどうはく)を招いて、福岡に東林寺ほか曹洞宗の寺院を開創、整備しました。このような功績にもかかわらず、当時の福岡藩の藩主を含めた政争のためか、実山は幽閉され亡くなるという非運な生涯を送りました。

本年は立花実山の三百回忌にあたり、福岡の江戸時代の文化について、改めて実山の活動、とくに「南方録」をとおして、ふり返ってみたいと思います。



立花実山筆「南方録」 圓覚寺



出山道白像 東林寺



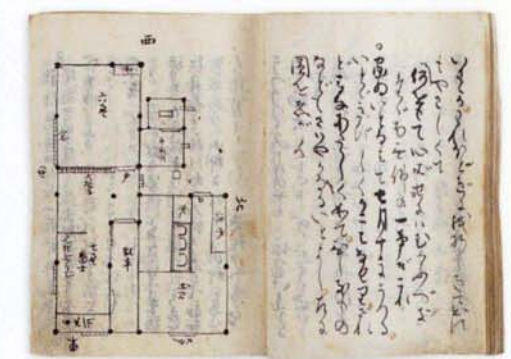
立花実山像 圓覚寺



立花実山作 花入「古老」 個人



立花実山和歌書 歌仙圖 宗像大社



立花実山の獄中記「梵字碑」 東林寺

### 観覧料(常設展共通料金)

一般2000(150)円、高大生1500(100)円、中学生以下無料  
 \* (一)内は20名以上の団体料金。シルバー手帳(福岡市発行のもの)、療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。

### 講演会 会場/福岡市美術館講堂 定員/246名

1 日時/9月2日(日) 午後2時から  
 演題/「実山と南方録」  
 講師/圓覚寺 龍淵孔道師  
 お申し込みは往復葉書あるいはファクシミリで、参加者名と希望される講演会の番号①②③、いずれか(複数可)をお書きの上、左記の住所あるいはファクシミリに「南方録と茶の心展講演会係」宛お送りください。

2 日時/9月15日(土) 午後2時から  
 演題/「南方録の成立」  
 講師/裏千家戸田即庵 戸田勝久氏  
 〒810-0051  
 福岡市中央区大濠公園1-6 福岡市美術館  
 FAX 092-714-6145

3 日時/10月6日(土) 午後2時から  
 演題/「立花実山の実像」  
 講師/福岡県地方史研究会 松岡博和氏  
 なお、往復葉書の場合は送り先を、ファクシミリの場合は発信電話番号を明記してください。  
 先着順に整理券をお送りします。

呈茶会/会期中、日曜、祝日に呈茶の席を設ける予定です。(有料)



福岡市美術館 福岡市中央区大濠公園1-6 TEL 092(714)6051  
<http://www.fukuoka-art-museum.jp/>

- このほか
- 宮本武蔵像 東林寺
  - 出山道白像 立花実山筆 出山道白賛 興宗寺
  - 建福院殿(保科弾正)像 立花実山筆 出山道白賛 明光寺
  - 大音重成像 立花実山筆 出山道白賛 円通院
  - 利休茶掛茶杓 立花実山作 東林寺
  - 立花寧拙本「南方録」、「秘伝」、「追加」 個人
  - 古外和画像 崇福寺

など 約70点を展示します。(一部展示替えを行います)